木の実谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第６号」
令和４年９月１６日発行
「誉れ・希望・誇り」

「逆転の発想でピンチをチャンスに！」～大逆転は起こりうる～

校長　水科　貴之

２学期がスタートして３週間が経ちました。これまでに中間テスト、新人陸上大会が終了し、明日は体育祭を実施します。今後も駅伝大会や新人各種大会、１０月にはOKAMI遠足、音楽祭、３年生の修学旅行と大きな行事が続きます。学校では、9月と10月を「協力・創造期」として位置付けております。これら多くの行事を成功させるためには、一人一人が自己の役割を果たし、互いに認め合い、感謝の気持ちを大切にすることが求められます。また、行事を成功させたり、大きな目標を達成したりするためには、必ずと言っていいほど、その過程で試練や困難に遭遇します。プレッシャーがかかる大会やテストも同様です。

そんな時に「逆転の発想」や「違う見方・考え方」で物事を考えたり、困難に立ち向かったりすることで、目標を達成できたり、奇跡の大逆転が起こったりするという内容について紹介します。（始業式で生徒にも講話を行いました）

『大逆転は、起こりうる。わたしは、その言葉を信じない。<u>どうせ奇跡なんて起こらない</u>。それでも人々は無責任に言うだろう。小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。誰とも違う発想や工夫を駆使（くし）して闘え。今こそ自分を貫くときだ。しかし、そんな考え方は馬鹿げている。<u>勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。</u> わたしはただ、為（な）す術（すべ）もなく押し込まれる。土俵際、もはや絶体絶命。』

いくら頑張っても駄目なものは駄目。自らの逆境を冷静に見極め、まさに心が折れる直前の心情が感じられ、人間の弱さを感じる文章です。しかし、この文章（※広告）には次のようなメッセージが続きます。『ここまで読んでくださったあなたへ。文章を逆から一つずつ読んでみてください。逆転劇が始まります。』では、ひっくり返してみます。（ぜひ、声に出して読んでみてください）

『土俵際、もはや絶体絶命。わたしはただ、為（な）す術（すべ）もなく押し込まれる。勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。しかし、そんな考え方は馬鹿げている。<u>今こそ自分を貫くときだ。</u>誰とも違う発想や工夫を駆使（くし）して闘え。小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。それでも人々は無責任に言うだろう。どうせ奇跡なんて起こらない。<u>わたしは、その言葉を信じない。大逆転は、起こりうる。</u>』

全く同じ文章なのに読む順番が変わるだけで、自分の思いを貫いて勝負に挑むという力強いメッセージが伝わる文章になり、人間の底力を感じます。絶体絶命のピンチが一転、大逆転を信じてむしろチャンスにも思えてくるような前向きな気持ちになります。

物事はそれをどのように捉えるかによって、その受け止め方が大きく違ってきます。日頃から物事をネガティブに捉える人は、状況を悲観的に考え、不安を抱きます。一方で、どんな時でも物事をポジティブに捉える人は、逆境においても希望を持ち続け、大逆転や奇跡は起こりうる、という不思議な自信を持っています。2学期の行事や活動を常にポジティブに捉え、自らの成長につなげてほしいと願っています。

※　記載した広告（文章）は、大手デパートの西武・そごうが、数年前に公表したもので、イメージキャラクターは、大相撲の幕内最軽量力士の炎鵬関が務めています。

＜ 1･2年 地域のお宝 取材活動にかかわるお願い＞

昨年に引き続き「地域のお宝紹介」動画の作成のため、9月27日（火）に取材活動を実施する予定です。今年度は活動時間を半日以上取り、そば打ちやパラグライダーなどの体験活動、インタビューの映像を撮る関係で、それぞれの取材先で昼食を取ることといたしました。そのため、弁当または、昼食代の準備をお願いいたします。（詳細につきましては、後日配付の文書をご覧ください。）

中間発表会を10月22日（土）学習参観日に予定しています。どんな動画ができるか、乞うご期待ください。

＜吉川商工会向井様より原之町商店街についての講話の様子＞

＊＊＊＊＊ OKAKI遠足（10月7日）参加者募集中!! ＊＊＊＊＊

ＯＫＡＭＩ遠足は今年第19回目を迎えます。秋の紅葉に色づく尾神岳を目指して吉川区を一周し、学校へもどってきます。尾神コースは24㎞、鳥人コースは32㎞となります。今年度から時間を競うことから、「コースを完歩する」ことに重点を置き、次年度「第20回ＯＫＡＭＩ記念遠足」へつなげていきたいと考えています。

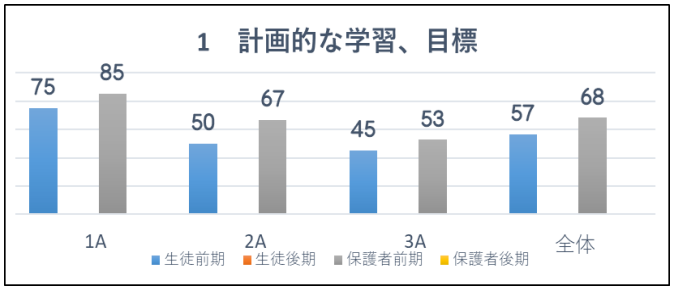
保護者の皆様から関門やコースの安全指導に係るボランティアにご協力いただけるとありがたいです。また、距離にかかわらず、生徒と一緒に歩いていただける方を募集中です。当日は全校生徒が吉川区内を歩きます。中学生を見かけたら、是非声援を送ってください。

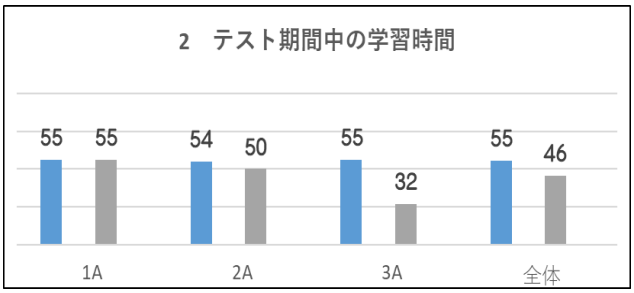
１０月		【第３期　協力・創造期】 ・集団の一員として自己の役割を果たそう。 ・仲間と協力して感動ある行事を創造しよう。 ・互いに認め合い、感謝の気持ちをもとう。
4日	火	上進連テスト②　OKAMIトレーニング（～6日）
6日	木	１・2年地域のお宝取材予備日
7日	金	OKAMI遠足
9日	日	えちごくびき野100kmマラソン 「大乗寺のお宝自慢」体育館1日貸出
11日	火	音楽祭特別練習開始（～21日）小中合同あいさつ運動（～14日）
12日	水	専門委員会
13日	木	授業力向上支援訪問（数学）
14日	金	全校音楽（上越教育大学上野先生出前授業①）
18日	火	歯科検診　全校音楽（上越教育大学上野先生出前授業②）
22日	土	学習参観日　地域のお宝中間発表　音楽祭
24日	月	学習参観振替休業日
26日	水	3年修学旅行（～27日まで）＊新潟方面
31日	月	上越教育事務所要請訪問

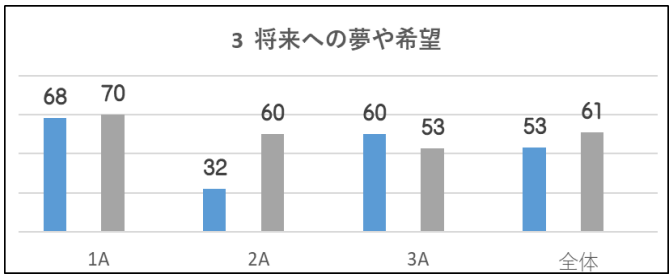
今週17日（土）は吉川中学校の体育祭です。コロナウイルス感染症防止の観点から、参観については、体調の悪い方のご観覧をご遠慮させていただきますので、ご理解・ご協力お願いいたします。

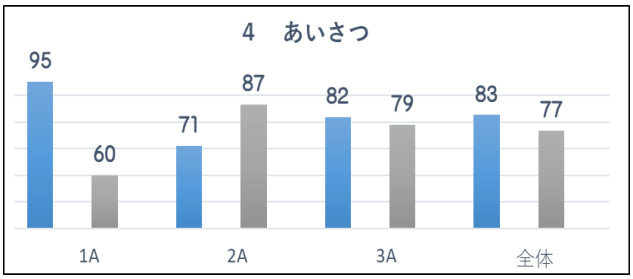
R4 前期生徒・保護者アンケート比較

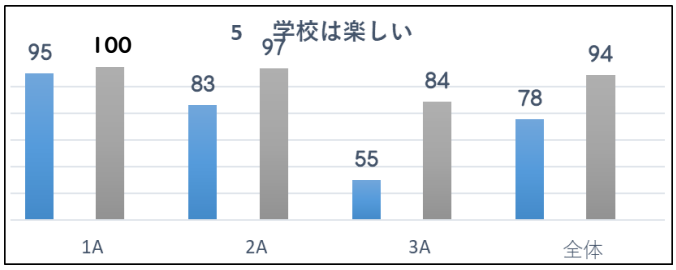
棒グラフは、左側：生徒前期、右側：保護者前期　を表します。

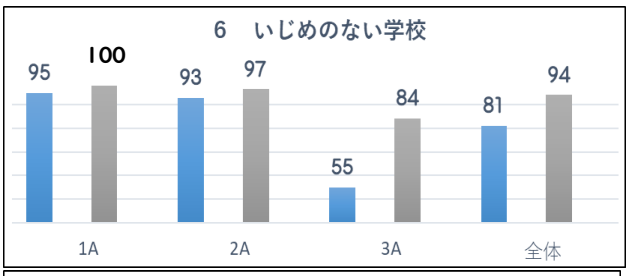


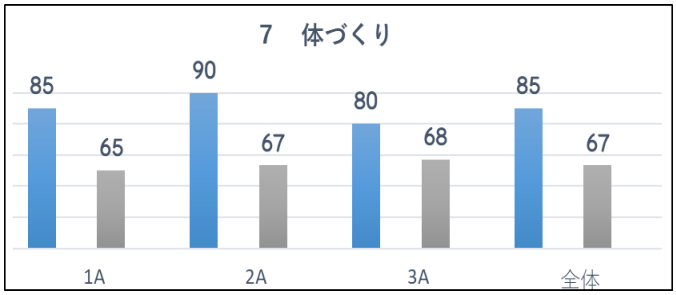


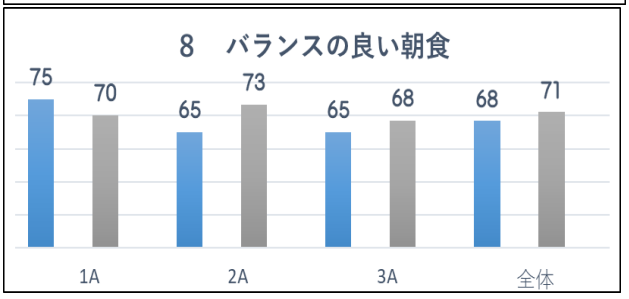


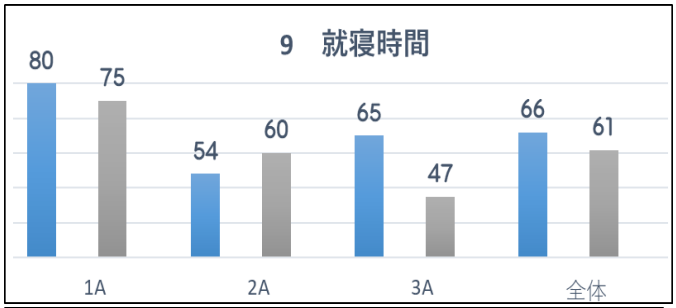


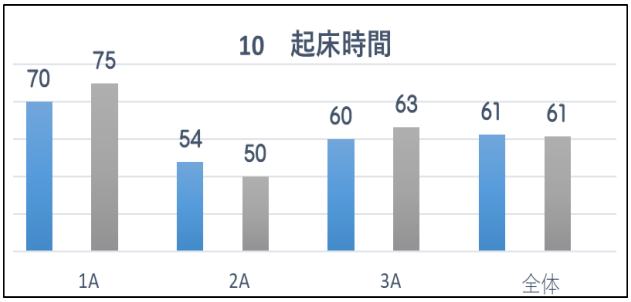


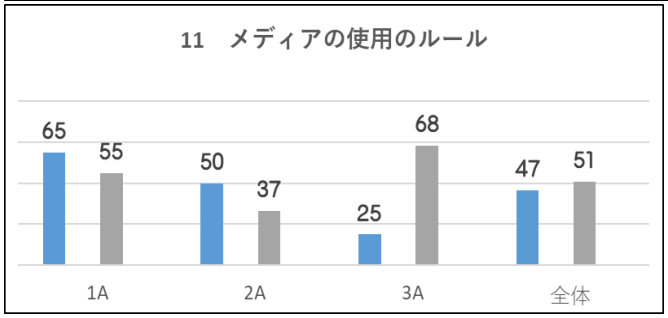












吉川中学校令和４年度前期学校評価

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。学校では保護者の皆様からいただきましたご回答や、生徒、職員の回答をもとに、教育活動を振り返り、２学期の取組を始めています。学校評価アンケートの集計は、学力向上（学）、豊かな心・社会性育成（徳）、たくましい身体育成（体）の３つの視点で行いました。要約してこのそれらの受け止めを載せさせていただきました。

学校評価アンケート回答数値の内容

４：そう思う（当てはまる）　　**＊肯定的評価は4、3の数値合計**
３：だいたいそう思う（だいたい当てはまる）
２：あまりそう思わない（あまり当てはまらない）
１：そう思わない（当てはまらない）

		番号		（番号は生徒、保護者アンケートの質問番号）
1	生徒	1	知	家で、自分で目標や計画を立てて勉強をしていますか。
	保護者	2	知	子どもは、目標や計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。
2	生徒	2	知	毎日（テスト期間以外の平日）の学習時間は何分くらいですか。 ４【９０分以上】　３【６０～９０分未満】２【３０～６０分未満】 １【０～３０分未満】
	保護者	3	知	子どもは、テスト期間以外でも学年取組時間（１年生は70分以上、２年生は80分以上、３年生は90分以上）の家庭学習に取り組んでいる。
3	生徒	3	知	将来への夢や希望をもっていますか
	保護者	4	知	子どもは、将来への夢や希望をもっている。
4	生徒	8	徳	自分から進んで家族や友達にあいさつできましたか。
	保護者	5	徳	子どもは、家の人や近所の人に自分から進んであいさつしている。
5	生徒	9	徳	学校は楽しいと感じていますか。
	保護者	6	徳	子どもは、楽しそうに学校生活を送っている。
6	生徒	10	徳	あなたのクラスには、いじめや差別をしない・させない・見逃さない雰囲気がありますか。
	保護者	7	徳	子どもは、いじめやいやがらせを受けることなく、安心して生活している。
7	生徒	15	体	体力作り(部活動等を含む)に積極的に取り組むことができましたか。
	保護者	8	体	子どもは、積極的に体を動かそうと取り組んでいる。
8	生徒	16	体	朝食をバランスよく食べていますか。 ４【主食＋主菜＋副菜】３【主食＋主菜】２【主食のみ」 １【食べない」
	保護者	9	体	子どもは、朝食で主食・主菜・副菜などバランスよく食べている。
9	生徒	17	体	平日は何時頃寝ますか。 ４【１０時までに】３【１１時頃までに】２【１２時頃までに】 １【１２時以降】
	保護者	10	体	子どもは、夜11時ごろまでに寝るようにしている。
10	生徒	18	体	平日は何時頃起きますか。 ４【6時までに」３【6時半までに】２【７時までに】 １【７時半までに】
	保護者	11	体	子どもは、朝6時30分ごろまでに起きるようにしている。
11	生徒	19	体	メディアの使用について、家族や自分自身で使用や時間のルールを決めて使っていますか。
	保護者	12	体	子どもは、テレビ、パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム機など、使用や時間のルールを決めて使っている。

令和４年度　１学期学校評価結果と２学期の方策（生徒・保護者・職員アンケートより）

教育目標「向上心に燃え、心身ともにたくましく実践力のある生徒」の達成を目指して

【学力向上】：向上心をもち、主体的に学習に取り組む生徒の育成

【研究主任：堀井　彩瑛】

〇良好な点

生徒：「授業を通してできた・分かったと感じ、学習意欲が高まった」の肯定的評価 86％

職員：「授業スタンダードをもとにした授業改善の取組」肯定的評価 100％

課題の提示や話合い活動の充実、まとめや振り返りの実施を重点においた「吉川中授業スタンダード」に基づく授業が定着しつつあり、毎時間の授業の流れを明確にすることができた。それにより、生徒は主体的に学習に取り組むことができ、学習意欲を高めることに繋がったと考えられる。

●課題となる点

・「ICT の効果的な活用」及び「考え議論する道徳の推進」

「タブレットをもっと使いたい」という生徒の声が多い反面、「あまり ICT を活用できていない」という職員の声もある。各教科で工夫し、生徒の要望に応えていく必要がある。

◇２学期の取組

【職員間によるプチ授業参観及び小学校との授業参観の実践】

全職員が毎週 15 分程度授業を参観することで、授業スタンダードの実践や ipad の活用等に対する意識を高めると同時に、それぞれの指導改善に努めます。

また、小学校と連携して授業を参観し合い、それぞれの取組を参考に自校での活動に生かします。

【全職員による学年をこえた道徳授業の継続】

教職員全員で道徳教育を推進していくことで、生徒の多様な考え方や価値観を大切にします。

【豊かな心・社会性の育成】：自らを律しつつ、他と協働して活動する生徒の育成

【生徒指導主事：覺張　壮】

〇良好な点

【地域に密着した総合的な学習の時間】１、２年生は「地域のお宝探検」、３年生は「職場体験」、全校では「やったれ祭り」を通して、地域の人との交流や地域連帯行事への参加を積極的に行うことで、地域の一員としての誇りを持つことができた。

　生徒：「ふるさと吉川の良さに気付くことができた」95%

【互いに認め合い、共に生きる姿勢】「ピカイチツリー」をはじめとした級友のいいところを見つける活動や、「あいさつ運動」を中心とした居心地の良い環境づくりに取り組んだ。

　生徒：「友達に思いやりをもって接することができた」94%

●課題となる点

・思いやりをもった行動ができている一方で、自分の考えを表現することを苦手とする生徒が多い。

・明確な目標がある場合は、率先して協力することができるが、自分で考えて集団のために行動を起こすことがなかなかできていない。

◇２学期の取組

【主体的に特別活動へ取り組む】体育祭や音楽祭などを生徒主体となってつくり上げることができるように促していく。自分たちでやり遂げる達成感や、楽しさを経験することで他の場面でも自ら行動しようとする主体性を養います。

【自立を促す生徒指導】服装や授業態度の場面で、職員からの指導だけでなく、生徒が自ら考えて納得して行動に移すことができる声掛けを徹底して、信頼関係を築きます。

【たくましい身体育成】：心身の健康を保ち、体力の向上に努める生徒の育成

【保健主事：竹内美穂子】

〇良好な点

生徒：「体力づくりに積極的に取り組んでいると答えた」全学年85％

・年間4回の定期テストに合わせてメディアセーブウイークを設定している。その期間は、家族ぐるみで取り組んでいる家庭が多い。

●課題となる点

・家庭内でメディアを利用するためのルールについての項目で、あると答えた生徒は47％、保護者は51％と低い。例えば、学校のタブレットの設定と同じように夜10時から翌朝5時までは使用できないように設定したり、1日2時間までの使用ルールに設定するなど、親子で話し合って家庭のルールを決める必要がある。また、就寝時刻の夜11時までに寝ていると答えている生徒は67％、12時以降と答えた生徒は17％だった。家庭との更なる連携が必要である。

・体力テストの結果から「20m シャトルラン」（全身持久力）と「長座体前屈」（柔軟性）の数値が全国平均を下回っている。

・感染症対応について、意識が薄れてきているので、マスクの着用、換気、人との距離を保つなどの意識をもって生活するよう呼びかけや指導を継続する。

◇２学期の取組

・望ましい生活習慣の定着（メディア利用や朝食摂取、起床就寝時間等）に向け、たよりを工夫し、家庭と連携していきます。生徒には、食育指導や生活習慣改善の指導を行ことで基本的な生活習慣の定着を図ります。

・メディア利用のルール作りを図り、具体的な取組を小中合同で推進します。

〇　保護者アンケート結果より（コメントより一部抜粋）

【生徒の安全確保】

・学校周辺の草刈りを総合事務所に依頼し、歩道を確保しました。今後も冬季の除雪を含め、行政機関と連携しながら登下校時の安全確保に努めます。

・校門を入った校地内は、徒歩通学の生徒や路線バス・送迎車の乗降で横切る生徒もおりますので、十分にスピードを落とした（時速30km/h以下）運転にご協力ください。（校地内は「ゾーン３０」を合言葉に）

【わかる授業・学ぶ楽しさの体得】

・全国学力調査（3年生が実施）やNRT検査（全学年で実施）の分析を行い、教科担任の指導改善はもとより、学年部とも連携しながら共通理解を図り、「分かる授業」を目指した授業実践を行います。

・3年生の放課後学習については、今年度は上教大生の支援がないため、職員を中心に全校体制で支援する予定です。

【教室環境の整備】

・今後も男女で教室と空き教室を区別し、必要に応じて更衣室として利用していきます。

〇　職員アンケート結果より

【学習指導・ICT活用】生徒の表現力を高めるためには、聞く力や安心して発言・発表できる雰囲気作りが不可欠。職員がICT活用に対する意識を高め、授業の中で積極的にタブレット端末の活用を図る。

【生徒指導】生徒が納得して行動できる機会が増え、その後の生活にも生かされることが増えた。今後も生徒の自律を促すような指導や支援を大切にする。その上で、「生徒に考えさせること」と「ダメなものはダメ」という毅然とした対応の両立を図る。

【業務改善】業務改善がいろいろなところで進んでいる。今後も業務の改善や軽減化を図ることで生徒のために費やすことができる時間を確保したり、持続可能な活動にしたりすることが大切である。